

より良い交流の場を提供

第6回定期総会と賀詞交歓会



第6回定期総会であいさつする高橋会長

日本配線資材工業会（JWAA、高橋信房会長）は14日、東京・中野サンプラザで第6回定期総会と賀詞交歓会を開催。総会では消費税や事業継続に関する事業などの計画案を承認。また、賀詞交歓会には過去最高の168名が参加し、情報交換を活発に行った。

●168人が大いに懇談

総会の冒頭にあいさつした高橋会長は、会員が80社に増えたことを報告した後「今年の景気は、消費税引き上げで4月に若干落ち込むが、年間を通しては良くなる」と確信している。会員が80社に達し、懇親会には168名の方が参加される。当工業会もようやく社会的に認知されたと思う。我々配線資材業界も今あるところから新しい分野を創る意気込みで臨み、そうなることを願っている」とあいさつした。



賀詞交歓会であいさつの関谷顧問

の団体として組織の強化を図り、会員企業のより良い情報交流の場を築き、会員の経営に貢献していく方針を決めた。事業の具体案は①BCP（事業継続計画）の策定支援セミナーを開催②消費税特別措置法及びガイドライン説明会開催③企業視察および企業見学会の実施④会報の充実とホームページの充実⑤青年委員会の活動強化⑥西日本支部の開設を検討⑦会員100社を目指して会員増強活動チームを設置し展開する。

総会では、平成25年度事業報告、同収支決算報告、平成26年度事業計画案、同収支予算案を満場一致で承認した。今年度事業計画は、配線資材業界は消費税引き上げに影響されずに、新分野への進出や新規事業の展開といった攻めの姿勢に転じて、会員企業の底力を発揮して企業競争力を高めることが必要となってくる。業界唯一の音頭で懇親に入った。4人組女性ボーカルグループ「THE DIVAS」のライブを楽しみながら、大いに情報交換した。

私とJWAA

「出会いが人を創る」

日本配線資材工業会

理事 園村 正徳

（ファスコ株式会社代表取締役社長）

幅広く人間関係を創ってきた園村正徳ファスコ社長は、人生の分岐点で必ず人との出会いがあった。JWAAについても長い付き合いとなる高橋会長と一緒にやろうと誘われた。早く会員100社にしたいと語る。園村社長の一期一会を大切にしている。ユーザーとメーカーのパイプ役を担う同社のDNAとして信頼を勝ち得ている。



園村 正徳理事

十八年前のことになるが、三和電材の能島保明社長（現相談役）に電話で会社を辞めると伝えたところ、その日の昼に、兵庫から東京にいられて、現在のファスコ（株）を任せると勧められた。四十八歳の決断であった。幸いメーカーからも支援を受けることができ、独立できた。能島相談役には人との付き合いの重要さを教えていただき、現在も本当にお世話に

なっている。メーカーから商品の供給を受けられたことにも感謝している。JWAAとの出会いも同じですか

園村社長 日本配線資材工業会も長い付き合いの高橋さん（会長）に、一緒にやろうと誘われ、理事を引き受けた。メーカー、商社が入っているのでは他の会になり良さがある。いつも話し合っているのだが、会員100社に向けて、会長を支えていく。全国ネットにして、工業会のメリットを地方の人にも感じてもらいたいの。東京だけでなく大阪、名古屋など各地でセミナーを開催できるようにしたい。

園村社長 苦労もありでしょう

園村社長 苦労は勉強ですよ。ファスコを引き継いで、私と会社が75%の株式を持ち、三和電材に25%持っていたら、独立会社として始めた。今日まで無借金でやって来られたのも、能島相談役やメーカーなど周りの人に助けられたからである。

園村社長 当社はユーザーとメーカーの

園村社長 苦勞も勉強ですよ。ファスコを引き継いで、私と会社が75%の株式を持ち、三和電材に25%持っていたら、独立会社として始めた。今日まで無借金でやって来られたのも、能島相談役やメーカーなど周りの人に助けられたからである。

園村社長 苦労もありでしょう

園村社長 苦労は勉強ですよ。ファスコを引き継いで、私と会社が75%の株式を持ち、三和電材に25%持っていたら、独立会社として始めた。今日まで無借金でやって来られたのも、能島相談役やメーカーなど周りの人に助けられたからである。

園村社長 苦労もありでしょう

園村社長 苦労は勉強ですよ。ファスコを引き継いで、私と会社が75%の株式を持ち、三和電材に25%持っていたら、独立会社として始めた。今日まで無借金でやって来られたのも、能島相談役やメーカーなど周りの人に助けられたからである。

園村社長 苦労もありでしょう

園村社長 苦労は勉強ですよ。ファスコを引き継いで、私と会社が75%の株式を持ち、三和電材に25%持っていたら、独立会社として始めた。今日まで無借金でやって来られたのも、能島相談役やメーカーなど周りの人に助けられたからである。

配線資材は「安心・安全」のJWAA会員からお求め下さい。

Japan Wiring Accessory Association 一般社団法人 日本配線資材工業会



会社名	電話番号
アール電子株式会社	03-3253-7600
株式会社アイカ	054-340-3672
株式会社アスタ	052-709-5543
株式会社稲葉製作所	03-3692-3937
エイブリティンコーポレーション	0425-26-7310
株式会社エスエイエ機	03-3866-5941
エスジー工業株式会社	03-3554-5461
エッセントラ コンポーネンツ ジャパン インク	045-321-2752
株式会社エルム電気商会	011-821-1551
エレックス株式会社	052-889-2221
株式会社エレナ	03-5671-3858
大江電機株式会社	045-241-3700
株式会社太田化工	054-257-0438
オーム電機株式会社	053-522-5555
株式会社オールテック	03-5625-0619
株式会社カメダデンキ	06-6997-5500
北川工業株式会社	0587-34-3561
株式会社北関東セフティデンキ	049-236-0761
北九州興産株式会社	093-922-0111
協立電業株式会社	042-548-8881

会社名	電話番号
共和産業株式会社	06-5532-3171
株式会社クラブテック	06-6903-6665
ケイテック株式会社	06-6397-5711
株式会社ケー・シー・シー・商会	078-992-1111
コウノハイテック株式会社	087-881-7111
高洋電機株式会社	023-645-2311
光洋ファスナー株式会社	03-3759-1221
株式会社三真	03-3480-2490
株式会社サンセイ	052-775-8571
株式会社サンデン	072-885-0091
株式会社サンナイオートメーション	044-751-6361
株式会社三和	052-221-8161
三和電材株式会社	06-4806-7181
株式会社シーティーケーEAST	03-3861-5618
株式会社シーティーケーWEST	06-6372-1515
品川商工株式会社	03-3492-0941(代)
篠原電機株式会社	06-6358-2655
芝軽粗材株式会社	03-3788-6314
株式会社信越セフティデンキ	0263-82-8780
株式会社進電	092-525-1181

会社名	電話番号
杉並電子株式会社	03-3399-6685
スズデン株式会社	03-5689-8001
星和電機株式会社	0774-55-8181
株式会社セフティデンキ	03-3950-3134
セミコンキヤリ株式会社	048-227-6633
第一商工株式会社	0268-22-5263
株式会社ダイジ	0466-55-1777
大同端子製造株式会社	0857-53-1212
株式会社高木商会	03-3783-6311
竹内工業株式会社	03-3727-7721
中愛株式会社	052-204-2811
ツカサ工業株式会社	052-691-1791
株式会社電興社	053-441-5444
東栄端子株式会社	03-3866-2121
東海端子株式会社	054-353-2089
株式会社東京ディップ	03-3736-2721
東方電材株式会社	048-477-2555
東北東技株式会社	022-235-8533
株式会社東名ヒューズ	052-452-1147
株式会社特電	055-929-2121

会社名	電話番号
株式会社ナスデン	06-6850-4691
株式会社名取製作所	055-922-2883
株式会社西日本セフティデンキ	052-772-5000
株式会社ニックス	045-221-2001
株式会社ニッセイエコ	0466-48-7572
新田電材 株式会社	03-3432-3811
日東プライ株式会社	045-542-6141
日本エイ・ウィー・シー株式会社	077-514-2411
株式会社ハギテック	043-423-8741
バンドウィットコーポレーション日本支社	03-6863-6000(代)
株式会社ヒダカ電材	049-294-2490
ファスコ株式会社	03-3846-9360
フジサワテクノス株式会社	089-905-7001
ヘラマンタイトン株式会社	03-5790-3113
株式会社マルタカ電器	0586-75-5151
株式会社南関東セフティデンキ	045-474-5661
ムツミ金属工業株式会社	06-6962-6068
森宮電機株式会社	03-3854-2031
横山化成株式会社	0745-74-3165
有限会社菱光産業	092-522-2131

(五十音順)

◎掲載会社はJWAA会員です。

JWAAが初の景況アンケート調査

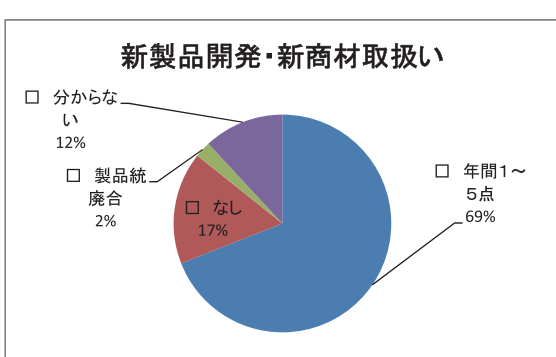
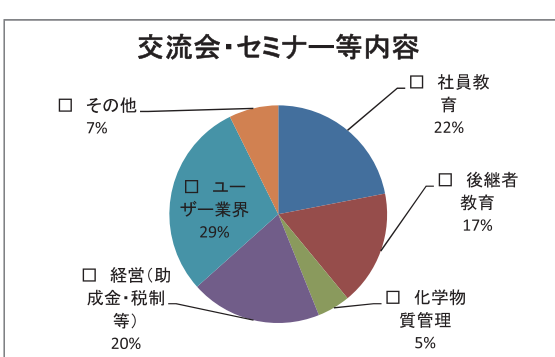
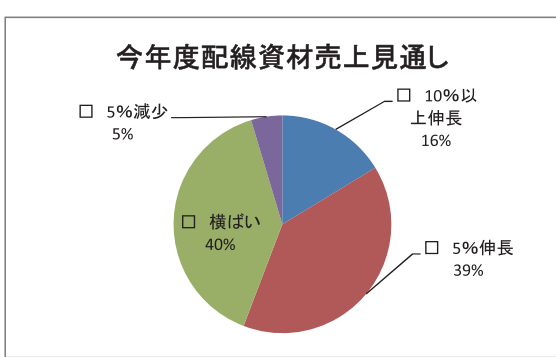
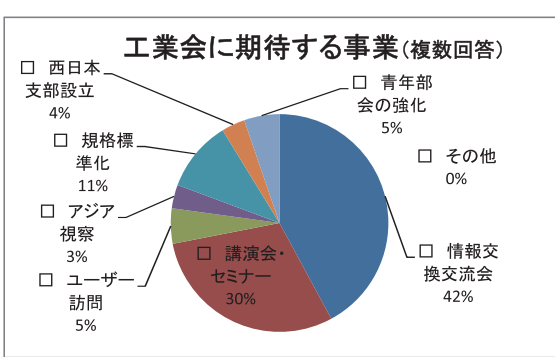
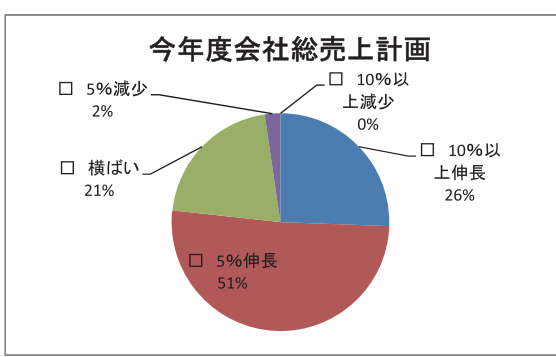
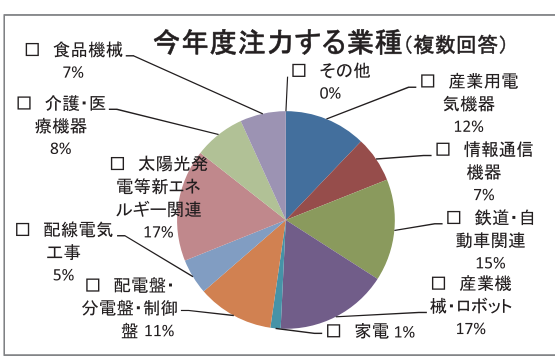
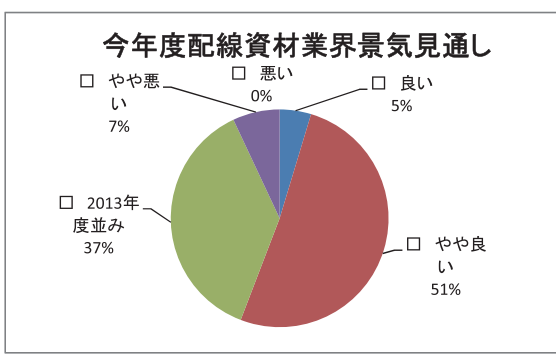
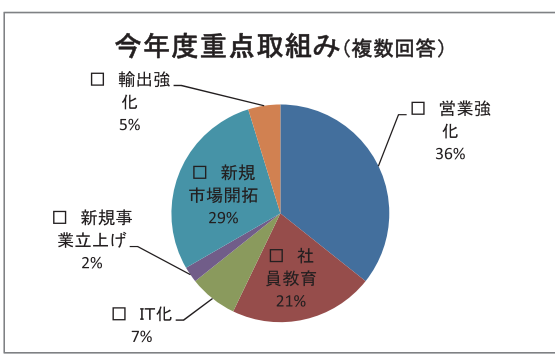
◎配線資材は順調予測◎

日本配線資材工業会（JWAA）は、会員を対象に景況感のアンケート調査を実施した。2013年度売上高は60%が伸長し、14年度も77%が前年度を上回ると予測している。また、14年度の重点取り組みとして営業強化と新規市場開拓が65%を占め、攻めの展開が浮き彫りされた。アンケートは今年3月に実施、45社が回答した。

JWAAでは、配線資材唯一のメーカーと商社が参加する団体として、会員の経営に寄与することを目的に今回初めて、先行き景況

見通し、売上計画、重点取り組み、注力する業種などについてアンケート調査を実施した。2014年度配線資材の売上見通しは、10%以上増加が16%、5%以上増加が39%を占めており、総じて先行き明るい予測している。また、横ばいも40%占める。また、重点取り組みでは、営業強化が36%で1位。次いで新規市場開拓29%、社員教育21%となっている。

JWAAに期待する事業としては、情報交換交流会と講演会・セミナーで72%に達したが、具体的にはユーザー業界や社員教育、経営（助成金・税制等）に関するものを望んでいる。JWAAでは今回のアンケート結果を事業に反映させたいとしている。



ユーザーとメーカーを信頼でつなぐ

<http://www.fasco.jp> **ファスコ**

最適な配線資材をご提案

ファスコなら在庫が豊富で安定供給！
ニーズに合わせて迅速対応いたします

結束バンド

手軽に束ねて、はずせる結束バンド。着色タイプを使用すれば、電線識別用としても利用可能。用途に合わせて材質も多様にあります。

ケーブルアクセサリ

ケーブル使用時の様々なシーンで便利に能率的に作業できる商品を取り揃えています。

コネクタ・圧着端子

バリエーション豊かに展開する産業用機器から小型志向を強める民生用電子機器まで、あらゆる産業の先端接続技術を広範囲にサポートします。

EMC(ノイズ対策)商品

電子機器や人体に悪影響を及ぼす電磁波対策を効果的に行うことができる様々な商品を取り揃えています。

■取扱い製品■

各種コネクタ・圧着端子販売、ケーブルアクセサリ販売、ノイズ対策関連商品(EMC)販売、ビニール電線・特殊電線販売、絶縁材料・加工販売、各種機器販売、ワイヤーハーネス加工

ファスコ株式会社
〒135-0003 東京都江東区猿江1-19-1
TEL03-3846-9360 FAX03-3846-9358

エレクトロニクス業界の発展を目指して

エレクトロニクス業界の発展が協立電業の願いです。
グローバルな広い視野で、お客様により最適な情報・商品をご提供・ご提案します。
お客様とメーカー様のより良い架け橋になるために、
年々多様化するお客様のリクエストにお応えするのはもちろん、
次代のニーズをメーカー様に伝え商品の発展、ひいては業界全体を発展成長させるよう、
今後もソリューションプロバイダーとして最大限の努力をまいります

・コンサルティング

有効利用のための
● 技術提案
● アフターサービス

業務のながれ
Work flow

● サンプル調達
● オリジナル製作

● 在庫確認
● 品質確認

● ご提案
● 条件設定/検索

主な取扱製品

- 半導体
- コネクタ
- 制御機器
- ケーブルアクセサリ
- EMC対策品
- シリコン
- 新エネルギー・環境機器
- 印刷機器

KYORITSU 協立電業株式会社 ■ISO9001/ISO14001認証取得

《本社》〒190-0023 東京都立川市柴崎町3-9-5 TEL:042-548-8881 / FAX:042-548-9101
《関西営業所》TEL:06-6304-6341 《九州C/P》TEL:093-511-5213 《中部営業所》TEL:052-744-4802
《関東営業所》TEL:048-657-3351 《長野営業所》TEL:0266-52-0551 《東北営業所》TEL:022-371-9641
《物流センター》多摩物流センター/静岡物流センター/静岡第二物流センター

<http://www.kyo-d.co.jp>

新 会 員 会 社 紹 介

□ 株式会社 太田化工 □

本 社：静岡県静岡市駿河区用宗 5-1-34
電 話：054-257-0438
代表者：代表取締役 桑原 俊之（くわばら としゆき）

当社は、1981年創業以来チューブ・パイプ・異形押出品を製造する、プラスチック押出成形専門メーカーです。ポリエチレン・ポリプロピレン等の汎用プラスチックから、ナイロン・ポリカーボネート等のエンジニアリングプラスチックを取り扱っています。配線資材としては、スパイラルチューブ・押出エッジング・グロメット等あります。試作から量産まで迅速に対応しますので、お気軽に問い合わせ下さい。



当社は、J R 東海道線沿いで静岡駅から名古屋方面へ2つめの用宗駅近くです。新幹線も並行して走っているので、新幹線車内からも見えます。（参考に下り方面左側です）用宗（もちむねと読みます）は港があり、シラス漁を行っております。シーズンには生シラスが食べられます。また台風中継の定番にもなっています。近くに見えた時には、是非お立ち寄りください。

最後に、日本配線資材工業会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

□ 共和産業株式会社 □

本 社：大阪市西区西本町 1-8-20
電 話：-6532-6171
代表者：代表取締役 内田 廣志（うちだ ひろし）

当社は1939年（昭和14年）に共和護謨工業株式会社（現株式会社共和）の商事部門として発足し、ゴム製品を主に販売し、戦後に貿易部を新設し輸出を中心に東南アジア・欧米・中近東等に電気絶縁材料の販路拡大を行ってまいりました。その後徐々に販売を国内市場に移行し、現在での営業活動はほとんどが国内マーケットに集中しています。おかげさまで75周年を迎えます。



取扱商品国内シェアNo.1の輪ゴム「オーバンド」をはじめ電線・チューブや特殊用途の電機・電子機器用の両面テープの加工・販売、電気絶縁材料、物流関連の資材・機材、衛生関連商品など幅広い分野で日々提案営業活動に取り組んでいます。「人こそが扉を拓く」を経営理念として、顧客満足

対応を最優先に良質の仕事を求めているCFC（チャレンジ・フレキシブル・クリエート）を行動規範としてすすめています。

所在地は地下鉄四つ橋線の本町駅徒歩1分の場合で仕事はもちろん夜の飲食など立地は最高です。お近くにお越しの折は是非お立ち寄りください。

□ 株式会社 三真 □

本 社：東京都狛江市駒井町 1-8-2
電 話：03-3480-2490
代表者：代表取締役 本田 功（ほんだ いさお）

弊社は昭和46年1月、東京都 狛江市にて三真電子機器商会で創業し、昭和49年12月、株式会社三真として法人になりました。



『電気部品の総合商社 電気部品の総合商社』をキャッチフレーズに創業後、商品の扱いも徐々に増え、現在では制御部品、電子部品、空圧機器、配線資材など、様々な商品を取り扱う『総合商社』となりました。

『お客様の満足度を追求し、より良い製品・情報をお客様へ提供し、お客様から信頼される会社を目指す』をモットーに、また環境方針として『地球環境が人類共通の重要課題のひとつであると認識し、地球環境の保全に取り組む』ことを基本理念としております。

なお、狛江市は小田急線で新宿より30分、多摩川に隣接しており、日本全国でも2番目に小さい市となっております。

今後とも会員の皆様ご指導の程、宜しく申し上げます。

□ 中愛株式会社 □

本 社：愛知県名古屋市中区錦 2-7-8 錦・幸ビル
電 話：052-204-2811
代表者：代表取締役社長 加藤 宜之（かとう のぶゆき）

この度、日本配線資材工業会に入会させていただきます。ありがとうございます。



弊社は、昭和25年中愛陶業合資会社を設立し碍子及び電球用のソケットなどを製造しておりました。昭和29年に磁器製電気ポットも製造しており、その

関係で通産省の認可を受け配線器具の製造を開始するようになりました。この当時は、磁器製の配線器具を主にしておりましたが、時代と共に絶縁物が磁器からプラスチックに変わり製造する品目を替えてまいりました。

15年前より、当社の特徴を生かして再度原点に戻り熱に強いと言われている磁器製の配線器具を中心に製造しております。

現在は、汎用品は基より特注品の方が多くなっております。今後配線資材がどのように変化していくのか、皆様の意見や指導をいただけたら幸甚かと思ひます。

今後とも宜しくお願いいたします。

JWAA会員ニュース

（平成25年10月より平成26年4月までの期間）

会社人事

【(株)三和】平成25年10月付、代表取締役社長に河野親孝（こうのよりたか）氏が就任しました。なお、前代表取締役社長の長瀬高治氏は取締役会長に就任しました。
【(株)ニックス】平成25年10月付、代表取締役社長に青木一英氏が就任しました。なお、前代表取締役社長の青木伸一氏は代表取締役会長に就任しました。
【高洋電機(株)】平成25年10月付、代表取締役社長に高橋章洋氏が就任しました。なお、前代表取締役社長の高橋邦洋氏は代表取締役会長に就任しました。
【(株)日本エー・ワイ・シー】平成25年11月付、前代表取締役鎌倉健司氏の逝去に伴い、代表取締役に鎌倉剛氏が就任しました。
【ヘラマンタイトン(株)】平成26年3月付、代表取締役社長に（前常務取締役）の塚本敏広氏が就任しました。なお、前代表取締役社長の石川雅之氏は相談役に就任しました。
【(株)名取製作所】平成26年4月付、代表取締役社長に名取慶仁氏が就任しました。なお、前代表取締役社長の名取賢吉氏は代表取締役会長に就任しました。

セミナー

【日本配線資材工業会】平成26年3月3日（政府における消費税増徴対策について）のセミナーを中野サンブラザで開催。30名を超える受講者で満員となった。
セミナーは、公正取引委員会取引企画課課長補佐・武田雅弘氏、消費者庁表示対策課課長補佐・星知矩氏、東京国税局課税第二部消費税課課長補佐・宮・宿垣貴之氏が消費税増徴対策特別措置法について概要、法令、公正取引委員会規則、内閣府令、ガイドラインを説明した。

新経営体制

【大江電機(株)】平成26年4月付、大江電機(株)、テルヤ電機(株)、横濱コンテックの3社は昨年11月のご案内の通り、5月1日より共同持株会社であるDENSEIホールディングス株式会社会社（DENSEI）の傘下で事業展開します。

太陽光発電システム施工には、
ヘラマンタイトンの配線固定ソリューション。

高い施工性

配線固定が
簡単

沿岸地域、
降雪地域での
使用に最適

優れた
耐塩害性、
耐候性。

太陽光発電パネル施工用
結束バンド・バイオニアとしての

圧倒的な
販売実績

ソーラーパネルの
配線固定実績

750万枚
以上

穴をあけずに
パネルエッジに固定が可能

新登場！

ガルバリック・エッジクリップ

ガルバリック®
GalvaLok®

※弊社調べ

HellermannTyton
ヘラマンタイトン株式会社

商品部 マーケティング課
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-48-3 住友不動産笹塚太陽ビル 6F
TEL: 03-5790-3128 FAX: 03-5790-3116

<http://www.hellermannntyton.co.jp>

ガルバリック

検索

半世紀の年輪が創る

TOHO

ビニール・ディップモールディング製品

深みのある独自の色調



●バラエティに富むTOHOブランド製品群

ディップモールディング製品は、標準色として赤・白・青・黒・黄・緑・灰・茶・透明・エンジ・深緑の11色を用意。また、特別色としてピンク・スカイブルー・オレンジ・といった色も製造可能です。

●難燃性タイプも量産化体制

太陽光発電設備など高温下でも高品質を維持できる105℃の高難燃性製品の量産を開始しました。

●高品質のメイドインジャパン

金型製作から原料配合、製品成型まで静岡県御殿場の4工場で一貫生産、最新生産設備により高品質の製品をお届けします。

TOHO

東方電材株式会社

<http://www.tohodenzai.co.jp>

□本 社 〒352-0014 埼玉県新座市栄3丁目6番9号 TEL:048-477-2555 FAX:048-477-2600
□第一工場 静岡県御殿場市神山1186-6 TEL:(0550)87-0213
□第二工場 静岡県御殿場市神山1134-11 TEL:(0550)87-1931
□かまど工場 静岡県御殿場市かまど字小堰1580-1 TEL:(0550)81-6800
□岩波工場 静岡県裾野市岩波105 TEL:(055)997-1497

○お近くのTOHO代理店
よりお求め下さい。

日本配線資材工業会青年部会（岡野和宏部会長）主催で昨年9月13、14日、福島復興支援ツアーを実施した。東日本大震災で打撃を受けた笹の川酒造や三菱電機郡山製作所を訪問し地域と協力しながら事業再開までの話を聞いた。また、工事の進め被災地に啞然とし、仮設商店街では試練を乗り越える人たちの明るい表情に接するなど参加者17名はそれぞれ思いを胸に刻んで散会した。岡野青年部会長、高橋ムツミ金属工業社長の寄稿を掲載し、福島復興支援ツアーの足跡を辿ってみた。

「ツアーを企画して思う」

青年部会長 岡野 和宏（森宮電機社長）

去る2013年9月13日（金）～9月14日（土）の2日間、青年部会主催による「JWAA福島復興支援ツアー」を実施し、事務局を含む13社17名の方にご参加いただきました。

初日に東京駅を出発、笹の川酒造株式会社、三菱電機株式会社郡山工場を訪問、磐梯熱海温泉に宿泊、翌日津波被災地の四倉・平地区を視察、小名浜を経て東京駅へ無事帰着いたしました。

笹の川酒造株式会社においては、建物の破損、損壊を目の当たりにし、天変地異の恐ろしさを改めて感じました。

三菱電機株式会社郡山工場においては、工場機能が停止した時点から、いち早く緊急の生産ラインを構築され、訪問させていただいた際は、防災対策ばかりではなく、太陽光発電をはじめとしたエネルギー対策、効率的な生産システムには目を見張るものがあり、見事な復興に大変驚き、感銘いたしました。

両社様とも自らだけではなく、地域のことを考え、経験を伝えることを実践されていることに、頭が下がる思いでした。

津波被災地の視察は、基礎のみとなった住宅地であった場所、学校校庭に残っているがれきの山等、未だに進んでいない復興の現状。風評被害や被災された方が受けた偏見のお話を伺い、心が痛み、訪問させていただいた我々は正確に情報を伝える者として、この時だけの点だけではなく、今後も線として考え、行動をすべきであると痛感いたしました。

私は、2011年3月11日の震災当日は海外におり、メディアが発信する情報でしか状況を知ることができない状態でしたので、今回の視察によって現地を訪問させていただき、見ること、感じられることができ、私の人



元気をさせる笹の川酒造



近代的工場に生まれ変わった三菱電機郡山工場

生においても大変意味深いものでありました。

また、宿泊先において、参加いただきました皆様とより懇親がはかれましたことを含め、有意義なツアーであったことをご報告申し上げます。

JWAA会員各社様のご理解をいただき、このような企画が実施できましたことを感謝し、ご参加くださいました皆様に改めて御礼申し上げます。

今後もJWAA全体の活動をサポートをさせていただきながら、青年部会としても企画し、行動してゆきたいと思います。

末筆ながらツアー実施にあたり、企画・運営にご尽力いただきました事務局、ご協賛くださいました株式会社セフティデンキ、アール電子株式会社両社様に御礼申し上げます。

「ツアー参加しての感想」

ムツミ金属工業株式会社
代表取締役 高橋亮之

2011年3月11日の東日本大震災が発生してから2年と半年を経過した今でも、まず強く思っていることは、このような災害は誰の身にも、いつでも起こりうることであり、決して他人事ではないということ。また、日頃からの備え、体制に怠りがないようにするためには、この震災で起こったことを決して風化させず、人々に伝えていかなければならないということでした。

震災から2年以上を経過した現在でも、現場での災害処理はまだ続いており、これからも地域住民の暮らしを取り戻すには長年にわたり作業が進められてまいります。

また、福島原発事故によって放出された放射能による大規模な放射能汚染は、自然環境と人々の社会生活に甚大な影響を及ぼし、未だに収束の見通しも見えない状況です。

先日行きました福島の視察は、このような現状を目の当たりにし、これからの危機管理の備えとして、今後どのように対処していくかということを考えるうえで、現場を見て実感しておくことが重要と考えて実施されたものだと考えております。

この度視察を行わせていただいたのは、1765年創業の笹の川酒造株式会社様と1943年に設立された三菱電機株式会社・郡山工場様の2カ所でした。笹の川酒造様は、現在でも震災時に倒壊した蔵や煙突に生々しい傷跡が残されており、当時の被害の大きさが伺えるものとなっております。しかしそんなことどもど吹く風のようにお元気な専務様のお話を拝聴し、最後には試飲までごちそうになり、大変楽しませていただきました。その中で、ライバル企業である他の蔵元とも、積極的に製造方法などの情報交換を行い、自分だけが儲ければよいのではなく、地域全体・業界全体が盛り上がり、皆で元気になるように考えておられる旨のお話しは意外であり、大変感銘を受けました。そして次に訪れたのが、三菱電機(株)郡山工場様でした。こちらは震災の折には、ほとんどの工場が機能しなくなったため、急遽設備を唯一無事であった食堂に移設し、いち早く復旧させた実績を語っていただきました。狭い食

堂の中で如何に効率よく設備を配置し、生産を行うかという知恵が、現在立て直された工場に役立つこととなり、震災前より倍以上生産効率を向上させたとお聞きした時は、驚きました。また新しい工場の屋根には全面太陽ソーラーパネルを設置しておられ、自家発電機能はもちろんのこと、電力管理システムの構築で環境に配慮した最新型の工場となっております。この工場は設立当初はミシンの木工部分の製造が行われていたようで、その後、その木工技術を活かして、オーディオ機器の生産もされておられました。現在では生産されていない、その当時の最高のスピーカーで視聴会を開催していただきましたことには大変驚きましたが、貴重な経験でした。現在では主力商品として、高機能デジタル防犯カメラなどを生産しておられました。個人的な感想では、どちらの企業様も「不易流行」の考えであったと思われ、新しいものを求めて変化を重ねていく流行性こそが不変な考えの本質にあることを思い知らされたように感じました。

企業様の視察が終了し、今回宿泊の旅館「華の湯」様は、震災後の復旧活動の最中、無料で救助隊などに旅館を提供され、中継基地として大変重要な役割を担われたとお聞きし、感動しました。宴会時にはわざわざ常務支配人がご挨拶しましたが、とても紳士で気持ちの良い方であると感じました。もちろん宴会は二次会に至るまで大盛り上がりであったのは言うまでもありません。業界の先輩方たちと楽しいお酒をかわし、立派な露天風呂にご一緒できた機会を得ただけでも、今回の視察に参加させていただいたことを嬉しく思いました。

酔いも覚めて二日目は、四倉・平地区の視察を行いました。最初に立ち寄った久之浜町にある浜風商店街は、津波の被害を受けた地域では最初に復興した商店街だそうです。助かった住民の方たちの生活を少しでも早く取り戻せるようにと小学校の校庭を一部使用しプレハブで建てられたものでした。小さな商店街の中ほどには資料館を設けておられ、そこには当時の数々の写真や模型が展示されており、スタッフの方にはその時の状況などを説明していただきました。津波に遭われた方の恐怖や悔しさなどは我々には10パーセントも理解することができないかもしれませんが、その代りにそれをさまざまな方面に伝えることはできます。この後に訪れた四倉・平地区などはもとにも津波の被害を被った地域で、その現場は未だに家の基礎部分だけが残った更地になっていました。こういった未だ進めぬ復興の現状と、間違った情報や偏見による地域住民への風評被害などを防ぐためにも、今回の視察で直接見て、聞いたことを正しい情報で伝えていかなければならないと思いました。

その後、事故もなく無事に東京に帰ることができました。ご参加の皆様には大変お世話になりました。この度の視察は私にとって、いろんな意味で大いに有意義なものであったと感じているところです。（平成25年9月寄稿）

最初に復旧した
浜風商店街



復興が進めぬ四倉・平地区

会社訪問記

東方電材株式会社



坂本竜馬の平等精神で経営

号の口
トーク
シア語

東方電材は、品質と色調にこだわる電材メーカーとして高い知名度を持つている。16色のスリーブやキャップ、スパイラルチューブ、ハウジングカバーなど

偉人の気概と実行力が片田会長の心にも宿っている。社長「東方電材」は、ガガリーン少佐の「地球は青かった」で有名な人類初の有人宇宙船ボス

カーが倒産したため「78年2月15日に工場を持ち、事務所も練馬区に移転した」と正確な年月日を忘れない。78年は為替が変動制に移行した年でもある。変動制が同社の業績を後押しした。「円高で材料が下がる中、自動車会社から配線の安全性の話が来て、キャップが売れるようになった」とメーカーへの転換期を語る。90年頃までは、自社製品に商標を刻印しないで製造販売してきたが、大手企業の指摘でブランド名「TOHO」を名入れるようになり、メーカーの形態を整える。

「ボストーク」が東方を意味する存在である。金型製作から原料配合・製品成型まで御殿場工場一貫生産体制を敷き、高品質製品を量産しているが、昨年はパストリットチューブの供給を開始した。同社を訪問し、その着実な成長の歩みを探った。

社屋の入り口正面に、水牛の大きな角と坂本竜馬像が目につく。飛び込んだ。そして、2階への階段には、坂本竜馬のポスターが貼られている。

社員の方々は高齢者も交えて、表情が明るく、そのうえ活気が充満している。片田勇雄会長は「坂本竜馬は国民すべてが平等」といった。脱藩したのは平等の日本を創るためであったと前置きし、当社は年寄が多い。取締役営業部長は72歳、管理には73歳の人がいる。会社を動かすためには、高齢者が必要である」と年齢差を問わず人材の大切さを説く。

人間味に満ちた創業者、片田会長の精神形成は、故郷の風土

16色のTOHO製品が強み

同社は今年、創業50年目を迎える。片田会長は圧着端子の商社に入り、8年間勤めた後、25歳で独立した。「東京オリンピック後の1965年に会社が倒産したため、その年に独立した。そして66年に会社法人を設立し、がむしゃらに全国を飛び回った」。松下電器産業などに採用され忙しかったが、仕入れメー

で一貫生産体制を敷いているのが強みである。昨年は7000万円を投資し、75℃や105℃の難燃性製品の量産化を始めた。

また、2年前に社長職を息子さんに譲り、会長に就いた。遠く先を見てひたすら走り続ける姿は、すでに後継者の胸に刻み込まれている。



片田勇雄会長

【会社プロフィール】
▽会社名 東方電材株式会社
▽創業 1965年9月
▽代表取締役社長 片田真一
▽本社所在地 埼玉県新座市栄3-6-9、電話 048(477)2555、FAX 048(477)2600

▽事業所 第一工場（御殿場市）、第二工場（同）、かまど工場（同）、岩波工場（裾野市）
▽営業品目 ディーピング製品、保護絶縁製品、ヒューズホルダーの製造販売、その他の製品販売。